令和６年度長崎大学言語教育研究センターワークショップ　参加無料

外国語教育の新展開を目指して

～日本語の活用と複言語の可能性～

令和７年度入試から新しい『学習指導要領』における英語教育を評価する入試となります。そうした制度の改変に際し、長崎大学言語教育研究センターでは、特別講演「現行学習指導要領下での英語教育と、小中高と大学教育との接続」（大津由紀雄先生）を開催しました（令和６年３月）。

今回は、第二弾として、より実践的な指導方法について意見交換を行うワークショップを開催します。３月の講演での提言「母語を活用した外国語教育の有効性」を踏まえて、第二言語習得研究の成果の活用、英語教育における日本語を活用した実践報告を中心とした講演を行い、それを基にして外国語教育における母語の効果的運用（どの場面、どのレベルであれば効果が期待できるのか）、複言語の可能性について意見交換を行いたいと思います。

日時・会場

令和６年７月 27 日（土）13:00~16:00（予定）

長崎大学文教キャンパス　グローバル教育・学生支援棟４階　スカイホール

対象

言語学・外国語教育に携わる大学教員、小中高の外国語・国語教員

プログラム

◉オープニング（13:00-13:15）

はじめに「母語から始め、母語を利用し、母語に感謝する外国語教育」

大津由紀雄（慶應義塾大学名誉教授・関西大学客員教授）

◉講演１（13:15-13:55）

「理論言語学と外国語教育の接点」

遊佐典昭（宮城学院女子大学教授）

◉講演２（14:00-14:40）

「日本語を活用した英語指導の効果」

隈上麻衣　（長崎大学先端医育センター助教）

◉講演３（14:40-15:00）

「学校英語教育の実情ー母語の援用をめぐってー」

廣江顕(長崎大学言語教育研究センター教授)

◉意見交換（15:00-16:00）

参加登録はコチラ→

当日参加も可能ですが、資料準備の関係上、出来るだけ事前申し込みをお願いいたします。

【お問合せ】長崎大学言語教育研究センター
<gengo_c@ml.nagasaki-u.ac.jp>

長崎大学 NAGASAKI UNIVERSITY　科研費 KAKENHI